

警察署協議会議事概要

協議会名	神奈川県津久井警察署協議会
日時	令和5年10月17日（火）午前8時40分から午前11時50分までの間
場所	神奈川県津久井警察署
出席者	<p>1 警察署協議会側 長谷川 允、中戸川 玲子、小室 美代子、山下 いずみ、関 みどり、相川 知昭 計6人</p> <p>2 警察署側 署長 佐藤 宏文、警務課長 田中 一成、刑事課長 嶋村 実、地域課長 橋本 智雄 交通課長 塚本 善治、警備課長 福田 徳昭、生活安全課長 安武 誠一郎、 会計課長 木村 貴之 計8人</p>
議事要旨	<p style="text-align: center;">警察署協議会からの答申等に対する措置結果の説明</p> <p>前回諮問「児童虐待事案の現状と児童相談所と連携した対応について」</p> <p>1 答申</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 津久井警察署は、児童虐待事案を丁寧に扱っていることから、引き続き児童相談所との連携及び情報共有を継続してほしい。 ・ 民生委員や学校カウンセラーからの情報を収集してほしい。 ・ 住民の代表として児童虐待の端緒を把握した際は、情報を上げるようにしたい。 ・ 通報時に早期対応、多人数の投入、正しい判断、子供の安全を第一に取り組んでほしい。 ・ 警察相談から得た情報についての的確に対応してほしい。 ・ 警察諸活動を通じた声掛けを積極的に行ってほしい。 <p>2 措置結果</p> <p>関係機関との連携</p> <p>(1) 児童相談所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 迅速な児童虐待情報と情報共有との的確な対応 事案の危険性・緊急性に応じた措置が必要であるため、児童相談所との情報共有等、相互の連携強化に努め対応している。 ・ 安全確認のための援助要請への対応 児童の命が最優先であることから、事案認知時の児童の早期安全確認の徹底及び援助要請、通告後の児童相談所職員からの安全確認要請による警察職員の同行など対応を行っている。 <p>(2) 学校などの行政機関</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 児童虐待の早期把握が抑止の鍵となることから、保護者の児童への暴力を早期に把握できる学校などの行政機関と連携し対応している。 <p>(3) 要保護児童対策地域協議会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 当署も同協議会に参加し、病院や医師会、行政等の他構成員と緊密連携を図り、児童の

	保護に関する各事案に応じて迅速に対応している。
議事要旨	諮問
	災害発生時及び通常時に警察に求める災害対策
	答申
	<ul style="list-style-type: none"> 津久井警察署が行っている災害発生時の諸活動は好ましいと思う。 日頃から災害発生時を想定した訓練を行っていることを知った。 いざというとき訓練が役に立つと感じた。 今後も災害時における各行政機関との連携・連絡強化の保持をして頂き、装備品の点検も怠ることのないように願いたい。
	業務説明
	令和5年7月から9月までの業務推進結果報告及び令和5年10月から12月までの業務推進計画について説明を行った。
備考	視察
	宮ヶ瀬湖における警察・消防共同による「宮ヶ瀬港遊覧船事故合同訓練」を視察した。
	視察後の協議会からの意見
	<ul style="list-style-type: none"> 各機関が連携し救助することは難しいと思っていたが、統率がとれた訓練を見て頼もしく思えた。 ドローンの活用は素晴らしい成果を上げることが分かり、予算や免許取得者などの確保ができれば、より一層期待が高まると思えた。